

## 優秀賞

R1-2 チームは、要求工学分野において新しい考え方である「非言語要求」を獲得する手法の考案に取り組みました。ユーザから「便利な機能である」という発言があっても、実際にはユーザはその機能の利用にストレスを感じていることがあります。本チームは、そのような状況を明らかにして、ユーザから「いいね!」と言っていただけ、真の要求獲得につなげることをねらいとしました。本チームは、ユーザの表情に着目し、表情によって感情を読み取る技術と、それらをカスタマージャーニーマップやシナリオ等の記述に沿って仕様化し、発話や記述によるユーザ側の状況と非言語要求とのギャップを分析する方法をまとめました。また、考案した手法の適用評価に、IoT 基盤である obniz を拡張した「逃げる AI 目覚まし時計」を利用し、Microsoft Azure Face による表情分析に画像認識手法を取り入れたリモートでの適用検証実験も行いました。本チームは、要求工学コースの「デザイン思考要求工学」を受講した内容をさらに進化させ、「非言語要求」の獲得という最先端の要求獲得手法の具現化、リモート環境でのニューノーマル時代にふさわしい要求獲得・分析手法の提案と実践環境の構築を意欲的にを行い、大変貴重な成果をあげられました。以上を評価して優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長  
早稲田大学理工学術院 教授  
本位田真一